



あたらしい本

第256号 2025. 4. 15(こども版)



たくさんよんでくださいね!

「ねんねのおばけ」 よしむらめぐ/絵 ^え 角野栄子/作 ^{さく}

しょうがくかん ^{かどのえいこ} 小学館 (角野栄子のアコちゃん絵本) (えほん 幼児向き)

サーちゃんの家^{いえ}に泊まり^とにいったアコちゃん。はじめてのお泊まり^とに元気^{げんき}いっぱいだったけれど、サーちゃんが先に寝^{さき}てしまうと、天井^{てんじょう}のすみっこに「ねんねのおばけちゃん」がい^{こわ}そう^{こわ}で怖くな^{こわ}ってしまい…。

「あいことばはあらしのよるに」 あべ弘士/絵 ^{ひろし} ^え きむらゆういち/作 ^{さく}

こうだんしゃ ^{しん} 講談社 (新あらしのよるにシリーズ1) (えほん 幼児向き)

く 食うもの、く 食われるものの壁^{かべ}を越えておだやかに暮^こらしているオオカミのガブとヤギのメイ。
なかよ 仲良しだけど、お互い隠^{たが}している秘密^{かく}があるようで…。あた^{あたら}しいともだち^えを得^えて、あた^{あたら}しい関係^{かんけい}を
つくる「新あらしのよるに」シリーズ。

「マイヤーさんと大きくなりすぎた犬」 ^{おお} リリアン・ムーア ^{いぬ} レオーネ・アデルソン/作 ^{さく}

さ・え・ら書房 ^{しよほう} (よみもの 小初向き)

ノディンさん^{いっか}一家^{いぬ}の犬のバターボールは、いつもいたずらばかりで、もうお手^て上げ。ある日^ひ、野良^{のら}犬^{いぬ}をつかまえる、町の犬の捕獲人^まマイヤーさんがや^{いぬ}ってきて…。人^{ひと}と犬^{いぬ}が心^{こころ}を^{かよ}通^{たの}わせる、楽^{たの}しく
て心^{こころ}あ^{もの}た^がまる物語。

「ガマ千びきイワナ千びき」 ^{せん} ザ・キャビンカンパニー/絵 ^え ^{せん} 最上一平/作 ^{さく}

ぶんけいどう ^{えほん} 文溪堂 (えほん 小初向き)

たき のぼ 滝を登ろうとしては、途中^{とちゅう}で落^おちてしまうイワナ。ガマは「登^{のぼ}れっこないよ」と呆^{あき}れつつも、
イワナのひたむきさに憧^{あこが}れ、好き^すになります。そして、ある大嵐^{おおあらし}の日^ひ、ついにイワナは、滝^{たき}を
のぼ 登^{のこ}り…。残^{こうどう}されたガマがとった行動は？

けむり
「煙のように消えるねこ」 リンダ・ニューベリー/作 たなかかおるこ やく
田中薫子/訳

とくましよてん
徳間書店 (よみもの 小中向き)

はな くさ はな となり いえ
花や草に話しかけている、隣 の家のおばあさん。サイモンは、隣 の庭でふしぎな出来事が
お 起きていることに気づく。ブルーというねこは、いつもふいにあらわれて、 けむり
煙 のように消えて
しまい…。「おもちゃ屋のねこ」の姉妹編。

ねこ
「どろぼう猫とキラキラのミライ」 こでまり
小手鞠るい/作 はやかわよしお え
早川世詩男/絵

せいざんしゃ
静山社 (よみもの 小中・小上向き)

おとうさんと ちゅう 1 のお兄ちゃんと猫のミライの家族に、 小 4 の ひかり
光 とママが加わった。お兄ち
ゃんはやさしいけど、あんまりしゃべらない。 ひかり
光 は、お兄ちゃんのことをもっと知りたくて…。
「どろぼう猫」シリーズ第3弾。

ようちょうまじゅうものがたり
「妖鳥魔獣物語」 ひろしま れいこ さく
廣嶋 玲子/作 まくらくらま え
絵

こみねしょてん
小峰書店 (よみもの 小上・中向き)

さらさら、こすれる うろこ おと
鱗 の音。かちかち、ふれあう牙の音。 ぎば おと やみよ けもの ふてき わら つの も おど
闇夜の 獣 は不敵に笑い、角持つ踊
り子は月にほほえむ。ようちょう つばさ まじゅう つめ とら
妖鳥 の翼、魔獣 の爪に囚われるのは、さて、だれになるでしょう？ どうぶつ
動物
にまつわるふ き み ふ し ぎ ものがたり へん しゅうろく
不気味で不思議な物 語 9 篇を収 録。

しごと
「仕事をめぐる愛と冒険」 こでまり
小手鞠るい/作 ゆうこ え
画

ぶんけんしゅっぱん
文研出版 (よみもの 小上向き)

しごと
仕事って、なんだろう。「事」に「仕える」って、どういうこと？ みんな、なぜ、しごと
仕事をする
の？ なんのために仕事をするの？ しごと
仕事をめぐる愛と冒険の物 語。「お金たちの愛と冒険」の
しまいさく
姉妹作。

さかとしりつちゅうおうとしょかん
坂戸市立 中 央 図 書 館 TEL281-6369

※図書館流通センター「新刊全点案内」より引用